

Ⅲ 共助社会づくり、生涯学習の推進

1 生涯学習の推進

(1) 社会教育の推進 << 施策 2 2 >>

社会教育課

総合計画の内容

< 現状・課題 >

- P T A、子ども会、婦人会等社会教育団体による活動や公民館、図書館等社会教育施設における学習機会及び情報の提供は、生涯学習・社会教育を推進する上でも重要な役割を果たしています。
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化等により地域の教育力が低下し、学校が抱える課題が複雑化、多様化する中で、さらに学校、家庭、地域が連携して子どもの育成に取り組む必要があります。
- 感染症対策や I C T 化の進展により、オンライン学習等新しい生活様式に対応した学習環境を整えることが必要です。

< 施策の方向 >

- I C T を活用しながら、社会教育に関する多様な学習機会や情報の提供、相談体制の充実を図るとともに、学習成果の活用を促進します。
- 県立社会教育施設の機能の充実を図り、県民の学習ニーズに即した学習プログラムの開発に取り組めます。
- P T A、子ども会、婦人会等の関係機関・団体との連携・協力体制を強化します。
- 社会教育活動の活性化に向けた人的ネットワークの構築を図るとともに、その中核となる社会教育主事等の社会教育関係職員の一層の資質向上を図ります。

令和 6 年度 施策の基本的なねらい

- ◇ I C T を活用しながら、県民の学習ニーズや現代的課題に対応した学習機会や情報を提供するとともに、学習成果を活用する機会の充実を図ります。
- ◇ 県民の学習ニーズに即した学習プログラムの開発に取り組むことにより、県立社会教育施設の機能充実・利用促進を図ります。
- ◇ 社会教育関係職員の資質向上と、関係機関・団体との連携・協力体制を強化することにより、社会教育活動の活性化を図ります。

令和6年度 主な取組・事業

取組・事業名	概 要
県立社会教育総合センター等での学習情報の提供及び学習相談の充実	「ふくおか社会教育ネットワーク」の活用等をはじめ、社会教育に関する情報提供や学習相談の充実を図ります。
県立社会教育施設の機能充実・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用しながら、県民の多様な学習ニーズに即した学習プログラムの開発や地域学校協働活動、体験活動、家庭教育支援等の現代的課題に対応した事業を実施し、施設の機能充実・利用促進を図ります。 ・県立社会教育施設において、近隣大学と連携してボランティアの養成・登録を推進し、ボランティア活動の促進を図ります。 ・県立図書館において、電子書籍を含むデジタル資料の充実に努めます。
社会教育関係職員の資質向上	社会教育・生涯学習関係職員等研修会や公共図書館等職員研修会、県社会教育主事等研修会等を実施し、社会教育関係職員の資質向上を図ります。
ふくおか社会教育応援隊事業の実施 ＜重点事業18＞	「ふくおか社会教育応援隊（県社会教育主事等）」が、市町村規模あるいは広域で活躍する機関・団体等が実施する社会教育関連事業に対し、効果的・効率的な運営を支援することにより、地域における社会教育活動の充実及び活性化を図ります。
社会教育関係団体等に対する育成支援・補助	社会教育関係団体が実施する研修会等において、講義や指導助言などの活動支援を行うとともに、団体助成金を交付します。
NPOやボランティア団体との連携・協力の推進	NPOやボランティア団体との連携強化を図るため、「みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム」や「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」を開催します。

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現状値	目標値
県立社会教育施設の利用	県立社会教育施設の利用団体数 (社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」)	1,660 団体 (R4 年度)	1,900 団体 (R8 年度)
県立図書館の利用	県立図書館の年間貸出冊数 (電子図書を含む。)	498,989 冊 (R4 年度)	460,000 冊 (R8 年度)
ふくおか社会教育応援隊事業の実施	ふくおか社会教育応援隊事業における社会教育主事等の派遣回数	716 回 (R4 年度)	1,200 回 (R8 年度)